

茨城県の農林水産業の概要

特徴・取組

茨城県は、東京から北東40～160kmに位置し、県北地域の一部を除いて平坦であり耕地は広大である。また、太平洋に面する長い海岸線と、琵琶湖に次いで全国で2番目に大きな湖である霞ヶ浦（北浦を含む）を有している。

気候は温暖で様々な動植物の南限と北限の境になっている。このような気象条件等を生かし、数多くの農林水産物が生産されている。

茨城県は、農業はもとより、広大な土地と首都圏に近い等の恵まれた条件により、化学工業をはじめ、生産用機械器具、食料品、鉄鋼、電気機械器具等を中心とした製造業が盛んであり、製造製品の出荷額で全国8位の工業県となっている。

令和6年の農業産出額は全国3位で、東京都中央卸売市場における県産品の青果物取扱高は平成16年から22年連続第1位である。れんこん、みずな、はくさい、ちんげんさい、メロン、ピーマン、くり、こまつな、鶏卵、かんしょ、米など生産量で全国の上位を占める農畜産物が多い。

農産物の令和6年度の輸出額は、約31億7,700万円で過去最高額を更新した。青果物では、アジア向けのかんしょ輸出が堅調に増加するなどにより、3年連続で輸出額が5億円を突破した。また、米では、アジア・北米に加えて欧州での販路が拡大したほか、畜産物では、アジア・米国向けの牛肉の輸出増加と香港向けの鶏卵の輸出が増加し、青果物、米、畜産物それぞれの輸出額も過去最高額となった。

林業は、県北部の山間地域を中心に、主として、すぎ、ひのきの木材生産が行われている。

水産業は、黒潮と親潮が交わる茨城沖が好漁場となっており、まいわし、しらす、ひらめ等を主体に多様な魚介類が水揚げされている。また、霞ヶ浦北浦において漁船漁業やこい等の養殖業が行われている。

茨城県では、「儲かる農林水産業」の実現に向け、経営者マインドを備えた担い手の育成・確保やブランド化による付加価値向上、販路拡大、スマート技術の導入や規模拡大による生産性向上等の様々な施策に取り組んでいる。特に農業については、我が国が直面している人口減少を踏まえ、中長期的な視点に立った施策の方向性として「茨城農業将来ビジョン」を2023年5月に策定し、事業を推進している。

主な農林水産物

れんこん

霞ヶ浦周辺で広域に栽培されており、収穫量は全国の約5割を占める。

（収穫量全国1位）



みずな

鹿行（ろっこう）地域を中心に県内全域から周年出荷されている。収穫量は全国の約5割を占める。

（収穫量全国1位）



はくさい

県西地域を中心に栽培されており、秋冬から春まで長期間出荷されている。

（収穫量全国1位）



ピーマン

温暖な気候と水はけの良い土壌に恵まれた鹿行地域を中心に周年出荷されている。

（収穫量全国1位）



くり

県央・県南地域が主産地。低温熟成し、甘みを増した貯蔵栗も出荷されている。

（収穫量全国1位）



メロン

鹿行地域を中心に、多彩な品種が栽培され、アジアを中心に輸出されている。

（収穫量全国1位）



鶏卵

古くから養鶏産業が盛んで、全国でも有数の産地となっている。

（生産量全国2位）



かんしょ

水はけの良い平坦な地域を中心に栽培され、加工品を中心に国内外での需要が増加している。

（収穫量全国2位）



ひらめ

茨城県のさかなとして選定されており、肉厚で脂質の量が最大の冬（12～2月）が旬となる。

（漁獲量全国6位）



米

全国有数の産地で、近年、コンテストの開催を通して、首都圏の消費者に本県産米のおいしさのPRに取り組んでいる。

（収穫量全国7位）



茨城県内の各地域における農林水産物

県央地域

【農畜産物】かんしょ（ほしいも）、にら、メロン、くり（笠間の栗、GI飯沼栗）、いちご、ねぎ（GI水戸の柔甘ねぎ）、ほうれんそう、きゅうり、なす、日本なし、そば、こぎく、牛乳、鶏卵

【林産物】しいたけ、まいたけ、はなびらたけ

【水産物】しらす、ひらめ、鹿島灘はまぐり、いせえび、あわび、しじみ

県西地域

【農産物】レタス、はくさい、ねぎ、キャベツ、日本なし、きゅうり、こだますいか、メロン、スイートコーン、茶、そば、トマト、かぼちゃ、カリフラワー、麦

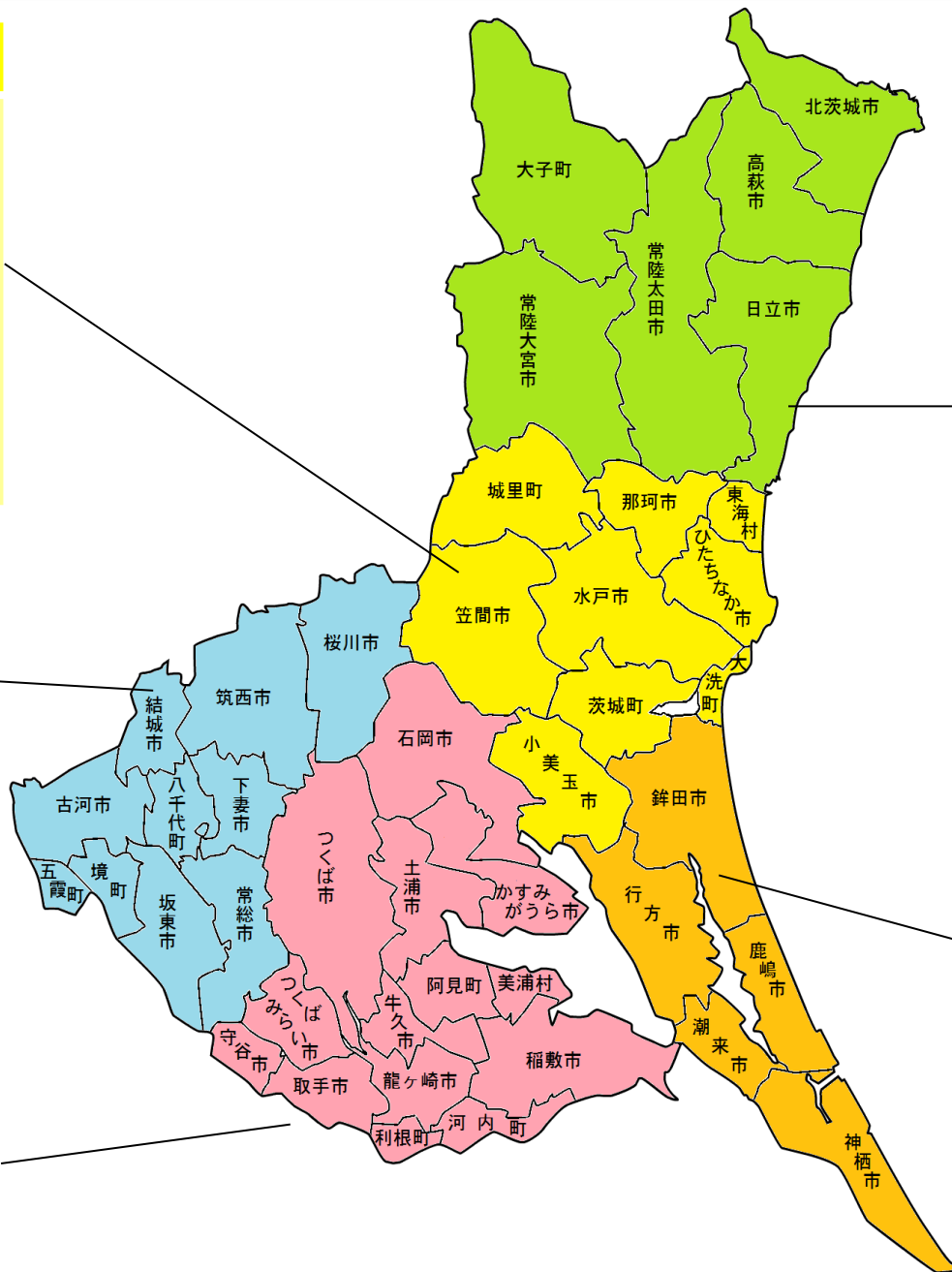
【林産物】しいたけ

県南地域

【農畜産物】れんこん、日本なし、ぶどう、芝、ねぎ、きゅうり、らっかせい、かぼちゃ（GI江戸崎かぼちゃ）、すいか、いちご、ブルーベリー、くり、肉用鶏、グラジオラス

【林産物】しいたけ、ひらたけ、なめこ

【水産物】しらうお、えび類（内水面）、わかさぎ、うなぎ、こい（養殖）、淡水真珠（養殖）



県北地域

【農畜産物】りんご、ぶどう、日本なし、ねぎ、切り枝（切り花類）、なす、そば、茶、シクラメン、こんにゃくいも、肉用鶏（GI奥久慈しゃも）

【林産物】木材、しいたけ、うるし

【水産物】まいわし、さば類、あんこう、やりいか、しらす、ひらめ、いせえび、あわび、あゆ

鹿行（ろっこう）地域

【農産物】メロン、かんしょ（GI行方かんしょ）、ピーマン、いちご、みずな、ごぼう、ほうれんそう、そらまめ、みつば、せり、れんこん、ちんげんさい、こまつな、しゅんぎく、センリョウ、まつ（低木、切り枝は正月の縁起物）

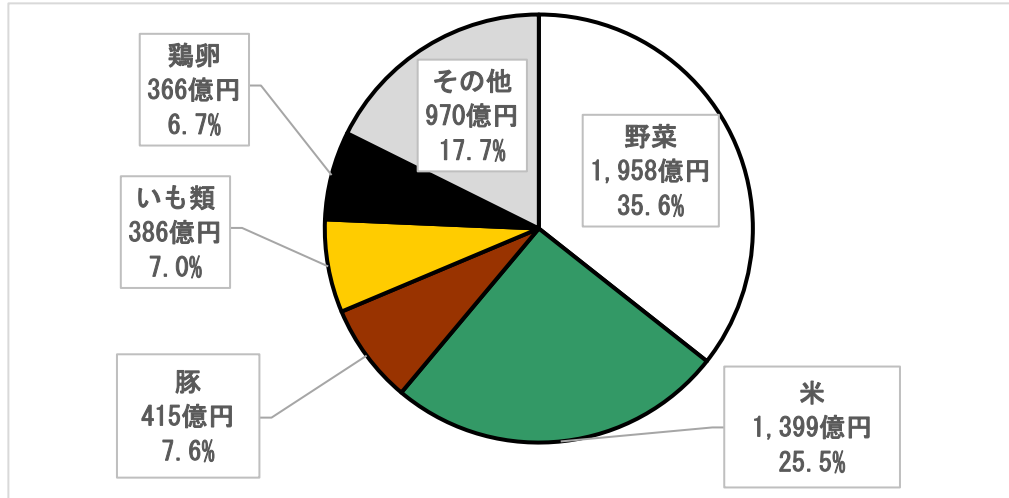
【林産物】しいたけ、ぶなしめじ、まいたけ、生きくらげ

【水産物】まいわし、さば類、しらす、ひらめ、鹿島灘はまぐり、鹿島たこ、しらうお、えび類（内水面）、わかさぎ、こい（養殖）

茨城県の農業（1）

- ・ 農業産出額は5,494億円で全国3位。うち米が1,399億円（25.5%）、野菜が1,958億円（35.6%）、畜産が1,286億円（23.4%）。
- ・ 農畜産物の生産状況は、れんこん、みずな、はくさい、ピーマン、ちんげんさい、メロン、くりが全国1位、かんしょ、鶏卵が2位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	茨城県	全国	全国順位	
水稲	収穫量	R7	364,000 t	7,790,000 t	7
かんしょ	収穫量	R7	195,500 t	699,400 t	2
れんこん	収穫量	R6	26,200 t	51,900 t	1
みずな	収穫量	R6	16,400 t	34,100 t	1
はくさい	収穫量	R6	248,000 t	827,000 t	1
ピーマン	収穫量	R6	33,500 t	143,000 t	1
ちんげんさい	収穫量	R6	10,900 t	38,700 t	1
メロン	収穫量	R6	36,900 t	137,500 t	1
くり	収穫量	R6	3,780 t	14,000 t	1
鶏卵	生産量	R7	144,386 t	2,453,409 t	2

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産物流通統計」

農業産出額のデータ

区分	茨城県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	5,494 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	3
米	1,399 億円 (25.5)	25,524 億円 (23.7)	4
麦類	7 億円	582 億円	7 *
雑穀	6 億円	87 億円	3
豆類	12 億円	621 億円	5
いも類	386 億円	2,565 億円	2
野菜	1,958 億円 (35.6)	25,510 億円 (23.7)	2
果実	129 億円 (2.3)	10,112 億円 (9.4)	19
花き	156 億円	3,423 億円	6
工芸農作物	3 億円	1,577 億円	26
その他作物	18 億円	583 億円	8 *
畜産	1,286 億円 (23.4)	36,654 億円 (34.0)	9
肉用牛	206 億円	7,861 億円	9
乳用牛	250 億円	10,035 億円	7
生乳	240 億円	8,937 億円	7
豚	415 億円	7,567 億円	7
鶏	413 億円	10,170 億円	7
鶏卵	366 億円	5,764 億円	2
ブロイラー	34 億円	4,259 億円	20 *
その他畜産物	1 億円	1,021 億円	28
加工農産物	133 億円	565 億円	1

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

茨 城 県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は15万8,300haで全国3位。うち田が9万3,900ha、畑が6万4,500ha。
- ・農業経営体数3万3,809経営体で全国2位。うち法人経営体数が930経営体で7位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は7,992経営体で全国5位。うち法人数が854法人で7位。
- ・農業生産関連事業は、農産物直売所の年間販売(売上)金額が367億円で全国8位、事業体数は600事業体で13位。

耕地面積

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
耕地面積	158,300 ha	4,272,000 ha	3
田	93,900 ha	2,319,000 ha	6
畑	64,500 ha	1,952,000 ha	4
普通畑	58,500 ha	1,118,000 ha	3
樹園地	5,570 ha	248,600 ha	12
牧草地	370 ha	585,900 ha	26
参考) 総土地面積	6,098.32 Km ²	377,979.74 Km ²	24

出典:「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	11,634 ha	256,667 ha	6

出典:「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
農業経営体数	33,809 経営体	836,054 経営体	2
法人経営体数	930 経営体	33,819 経営体	7
総農家数	56,248 戸	1,394,135 戸	2
販売農家数	32,863 戸	792,808 戸	2
参考) 世帯総数	1,184,133 世帯	55,830,154 世帯	13
集落営農数	120 集落営農	13,952 集落営農	31

出典:「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	66,904 ha	2,627,068 ha	9
集積率	42.3 %	61.5 %	26

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	43,102 人	1,036,228 人	3
男	27,335 人	659,332 人	2
女	15,767 人	376,896 人	4
65歳以上	29,943 人	721,311 人	3
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	69.5 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	7,992 経営体	212,136 経営体	5
法人数	854 法人	29,684 法人	7
参考) 人口総数	2,867,009 人	126,146,099 人	11

出典:「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売(売上)金額及び事業体数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	13,440 百万円	1,006,107 百万円	24
	事業体数	1,220 事業体	26,910 事業体	3
農産物直売所	総額	36,691 百万円	1,134,381 百万円	8
	事業体数	600 事業体	20,960 事業体	13
観光農園	総額	1,641 百万円	39,113 百万円	9 *
	農業経営体数	200 経営体	4,350 経営体	6
農家民宿	総額	10 百万円	4,933 百万円	38 *
	農業経営体数	0 経営体	770 経営体	42
農家レストラン	総額	941 百万円	39,900 百万円	17 *
	事業体数	30 事業体	1,390 事業体	16

出典:「令和6年度6次産業化総合調査結果」

茨 城 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は87.7億円で全国20位。うち木材生産が55.9億円、栽培きのご類生産が31.5億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国14位、生うるしが全国2位、ひらたけが4位、ぶなしめじが5位、広葉樹が6位。

林業産出額

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
林業産出額	87.7 億円	4,769.8 億円	20
木材生産	55.9 億円	2,369.4 億円	17
栽培きのご類生産	31.5 億円	2,322.7 億円	21

出典：「令和6年林業産出額」

林野面積

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
林野面積	190,730 ha	24,744,214 ha	39
国有林	43,634 ha	7,117,059 ha	21
民有林	147,096 ha	17,627,155 ha	39
人工林面積	109,610 ha	10,059,386 ha	35

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
林業経営体数	281 経営体	23,300 経営体	31
法人経営体数	30 経営体	3,813 経営体	38

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
素材生産量	483 千m ³	19,763 千m ³	14
針葉樹	419 千m ³	18,398 千m ³	15
すぎ	325 千m ³	11,716 千m ³	11
ひのき	88 千m ³	3,019 千m ³	15
広葉樹	64 千m ³	1,365 千m ³	6
まいたけ	生産量 111 t	56,609 t	12 *
ひらたけ	生産量 233 t	4,004 t	4 *
ぶなしめじ	生産量 3,077 t	117,536 t	5 *
生うるし	生産量 210 kg	1,792 kg	2

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
製材工場数	88 工場	3,547 工場	16
製材用素材の入荷があった工場数	84 工場	3,492 工場	17
国産材のみ	80 工場	3,013 工場	17
国産材と輸入材	- 工場	386 工場	-

出典：「令和6年木材統計」

茨 城 県 の 水 産 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は251億円で全国18位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のまいわしが全国1位、しらすが5位、ひらめが6位、内水面漁業のあゆが1位、内水面養殖業のこいが1位。

漁業産出額

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	251 億円	14,785 億円	18
海 面 漁 業	x 億円	8,894 億円	- *
海 面 養 殖 業	x 億円	5,891 億円	- *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	310 経営体	65,662 経営体	37
内水面漁業経営体数	338 経営体	4,076 経営体	4

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,083 人	121,389 人	29
男	1,053 人	109,757 人	29
女	30 人	11,632 人	33

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
漁船隻数	400 隻	109,284 隻	37
動力漁船	324 隻	58,907 隻	35

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	x t	3,589,121 t	- *
海面漁業漁獲量	231,853 t	2,786,195 t	3
まいわし	208,258 t	666,403 t	1
しらす	2,714 t	36,391 t	5
ひらめ	248 t	6,489 t	6
海面養殖業収穫量	x t	802,927 t	- *
内水面漁業・養殖業生産量	2,410 t	47,046 t	7 *
内水面漁業漁獲量	1,701 t	17,915 t	4
あゆ	267 t	1,414 t	1
しじみ	960 t	9,462 t	3
内水面養殖業収穫量	709 t	29,131 t	10
こい	629 t	1,617 t	1

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	5,303 百万円	193,147 百万円	10
	事業体数	0 事業体	1,160 事業体	37
水産物直売所	総額	x 百万円	34,259 百万円	- *
	事業体数	0 事業体	780 事業体	33
漁家民宿	総額	x 百万円	5,440 百万円	- *
	漁業経営体数	0 経営体	540 経営体	30
漁家レストラン	総額	227 百万円	13,511 百万円	14 *
	事業体数	0 事業体	380 事業体	30

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

茨城県の農林水産業の話題等（1）

県産品のブランド力向上

県では、品質や食味を競うコンテストの開催や、県独自の高い品質基準の設定などによるブランド化に取り組んでいる。

2025年度は、日本一のメロン生産県の地位を名実ともに確固たるものとするため、高品質で優れた逸品を選抜する品評会「KING & QUEENコンテスト2025」のほか、全国から選りすぐりのほしいもが、生産量日本一の茨城県に集結して日本一を決定する「全国ほしいもグランプリ2026」、いばらきのおいしさを極めたお米を選ぶ「第5回いばらき米の極み頂上コンテスト」を開催し、入賞した産品は県アンテナショップなどで販売した。2026年度は、「茨城いちごグランプリ」のリニューアル開催等を検討している。

畜産物では、茨城県ブランド豚肉の「常陸の輝き」が、最もトンカツに合う豚肉“ベス豚（とん）”を決定する「ベス豚グランプリ」において金賞を獲得。今後、金賞受賞を活かしたプロモーションと販路開拓に取り組んでいく。

また、「常陸牛」では、風味や口溶けの良さに関与する「オレイン酸」や口当たりの良さに関与する「小ザシ（霜降りの細かさ）」など、おいしさに着目した全国初の基準により選び抜かれた最高峰ブランド「常陸牛 煌（きらめき）」の販売を2023年より開始し、「常陸牛」全体の品質向上を図っている。



「KING & QUEENコンテスト2025」受賞メロン



農業の生産性の向上

県では農地が効率的に利用されるよう、意欲ある経営体への農地の集積・集約を進めている。特に、市町村と連携の下、各市町村で策定された地域計画のブラッシュアップを支援し、農地の分散解消に向けた経営体同士の合意形成等を積極的に支援していく。

また、作業の省力化が可能となるスマート農業技術について、県が作成したスマート農業導入の手引きに基づき、費用対効果を踏まえた技術の導入を進めている。

さらに、気候変動について、機動的かつ総合的な対策を講じていくため、2025年度から「有機農業・気候変動対策推進室」を設置した。高温耐性品種の開発とともに、国や民間で育成された有望な品種の導入推進、現場ですぐに活用できる生産技術開発に取り組むほか、地域での技術実証や対策指導を行っていく。



ドローンによる農業散布

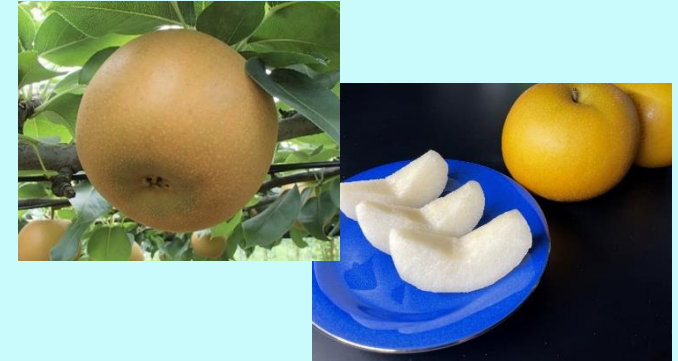
茨城県の農林水産業の話題等（2）

県育成ナシ新品種「ピュアリス」

県が育成した梨の新品種の商標名称を、一般公募により寄せられた候補から「ピュアリス」に決定した。名前の由来は、「ピュア（Pure）」と「エリス（Elysian：天国の、至上の）」からで、上品で洗練された甘さと食感を表現している

「ピュアリス」は、都道府県が育成した品種ではじめて、梨の重要病害である「黒星病」の抵抗性を有しており、酸味が少なく、さわやかで上品な甘さや、シャリシャリとした食感が特徴。

2025年12月から苗木販売をはじめており、2027年から試験販売・PR、2030年から本格出荷を予定している。



県産木材の利用促進

県では、森林資源の循環利用と林業の成長産業化を目指し、意欲ある林業経営体の規模拡大、県産木材の利用促進に取り組んでいる。

利用促進については、非住宅・中高層建築分野における需要開拓を進めており、木材の利用先を確保するため、首都圏における中高層ビルの木造化などの取組のほか、大手ファストフードチェーンとの間で店舗の新築等に本県産木材を積極的に活用する「建築物木材利用促進協定」を締結している。



都内建設中の木造ビル（茨城県産木材使用）

茨城県初の海面養殖魚「常陸乃国まさば」

2024年11月に誕生した茨城県の新養殖魚ブランド「常陸乃国まさば」は、県が定めたブランド基準である、人工種苗由来、人工飼料で育成されていることを満たすことで、アニサキスの寄生リスクを限りなく低くし、通常のマサバでは難しかった「生食を推奨できる」ことを実現した養殖マサバ。

適度に脂が乗って爽やかな旨味が感じられる「生旨（なまうま）」な味わいは、食べた人のほとんどが「また食べたい」と回答するほど。

本県の新たな名物になるよう、生産の拡大や市場づくりの取組を進めている。



マサバの背中の模様をモチーフとしたロゴマーク

